



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薗町長屋1963

(株)エホ・リレーション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



めっきり寒さが厳しくなってきました。沈静化し始めたと思ったコロナ感染の陽性者も増加しているようです。あっという間の1年でしたが、これまで以上に嬉しいニュースや悲しいニュースが錯綜していた年であったように思います。新しい年のテーマは「健康」でありたいと考えます。健康な社会の中で組織や企業が健康であり、もちろん私たちみんなが健康で暮らせることが何よりの願いです。

今回は健康都市・亀山市から寄稿いただきました。



亀山市長 櫻井 義之

健康都市連合

亀山市は、WHO が提唱している「健康都市」を推進する「健康都市連合」および「健康都市連合日本支部」に加盟し、健康都市という考え方を取り入れて、市民の健康に関する課題への取り組みを強化し、市民と行政が一緒になった健康なまちづくりを推進しています。

WHO(世界保健機関)は、健康を個人の責任としてのみとらえるのではなく、都市そのものを健康にすることを提唱しています。その考え方にに基づき、それぞれの都市の実情や抱えている課題を踏まえた健康都市の将来構想を持ち、それに向かって努力している都市を「健康都市」としています。

同連合は、人も都市も健康になることを目標に活動している国際的なネットワークです。本市の加盟は平成22年7月13日、国内では14番目、県内の自治体では初めてとなります。

同連合は、「健康」を、保健、福祉、医療など、人の健康に直接かかわる分野だけに限定せず、都市環境、自然環境、文化など、人の健康に影響を及ぼすあらゆる要因を改善していくための取り組みを進めており、令和3年6月現在で11カ国から195都市48団体の自治体や研究機関などが加盟しており、日本からは35都市6団体が加盟しています。

本市は同連合への加盟と併せ、「健康都市連合日本支部」にも加盟(平成22年6月22日)しました。同支部は、平成17年に健康都市連合に加盟していた沖縄県平良市、千葉県市川市、愛知県尾張旭市、静岡県袋井市が発起人として設立し、令和4年4月現在、本市を含め日本国内の38都市3団体が構成されています。同支部は、国内に健康都市の取り組みを広め、各都市の地域特性に応じたWHO健康都市の実現に寄与することを主な目的としています。



亀山市健康ポータルサイト『かめやま健康なび』

令和4年12月1日から、市民の皆さんが健康に関する情報を得やすくするため、健康づくりに関する情報を一元化したwebサイト『かめやま健康なび』を公開しています。本サイトでは、各種検診の情報や生活習慣病予防食レシピ、運動教室など、市民の皆さんの健康づくりをサポートする情報を「健康」「食」「運動」「健康都市」の4つのカテゴリーに分類し、掲載をしています。

また、同時にコミュニケーションアプリLINEを活用し、公式アカウント『かめやま健康なび』も開設しました。

■健康ポータルサイト『かめやま健康なび』<https://www.city.kameyama.mie.jp/kenkonavi/>

■LINE公式アカウント『かめやま健康なび』LINE ID:@371uvqnt

かめやま健康なび
LINE公式アカウント
友だち募集中



生まれ変わる亀山駅前「キッテラス亀山」完成

令和4年10月21日、亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業が完成を迎えました。

検討段階から10年余の年月を経て、多くの市民の皆様の思いが募った新しい駅前地区が生まれました。

本地区の再生は、昭和・平成の時代からの長年の悲願であり、本市の都市形成において大きな転換点となるものです。

この度完成した「キッテラス亀山」には、市の新図書館が令和5年1月26日に開館します。

あらゆる世代の人にとって使いやすい多機能図書館として、また、新たなにわいの核となる施設の誕生にご期待ください。



本市が目指す将来都市像「歴史・ひと・自然が心地よい緑の健都 かめやま」に向け、亀山駅前が新たなにぎわいを生み出すことでまちの活力を向上させ、今後待ち受ける激動の時代を柔軟に、しなやかに乗り越えていけるよう今後とも皆様とともに歩んでいきます。



亀山版ネウボラ「TEAM SUKU-SUKU」

妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な子ども・子育て支援のため、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を核としてこれまで展開してきた支援体制について、「TEAM SUKU-SUKU(チーム・すくすく)」と名付けました。

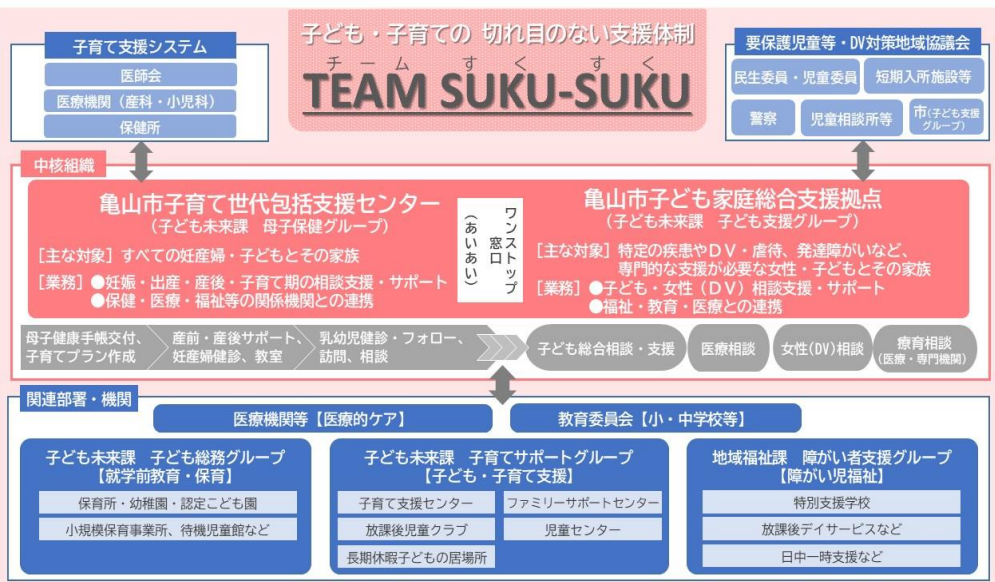
この体制は、本年4月の機構改革に伴い、これまで所管課が異なっていた子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点が子ども未来課の所管となったことを機に各拠点の連携を強化するとともに、関連部署等を一つのチームとして身近に感じていただくことで、安心して子育てしていただけるように構築したものです。

妊娠期・出産前後に関わる産婦人科や助産所をはじめ、子育て期に関わる小児科や保育所・幼稚園・認定こども園、小・中学校、放課後児童クラブ、また民生委員・児童委員など幅広い機関等から構成されています。

大きな特徴は、全ての妊産婦・子どもとその家族を対象とする「ポピュレーション・アプローチ」による育児相談や乳幼児健診等を行い、その中でリスクや課題が発見された方々に対して個別支援を行う「ハイリスク・アプローチ」に迅速かつ効果的につなげる点です。

相互の「顔が見える関係づくり」を大切にした医療・保健・福祉・教育のネットワークを生かし、切れ目のない支援をチーム一丸となって行います。

今後も、県内を先導してきた「子育てにやさしいまち」として、安心して妊娠、出産、子育てができる環境を整えていきます。



コミュニティソーシャルワーカー(CSW)による支え合いのしくみづくり～ひとりぼっちをなくすために～

平成30年4月よりCSWを設置し、地域で助け合う福祉のしくみづくりを展開しています。

これは、地域まちづくり協議会を単位として、住民自らが主体的に地域の福祉課題を把握し、助け合い・支え合いにより解決を試みることができるよう、ちょっとした困りごとに対応する「ちょこボラ」を育成しながら行うものです。

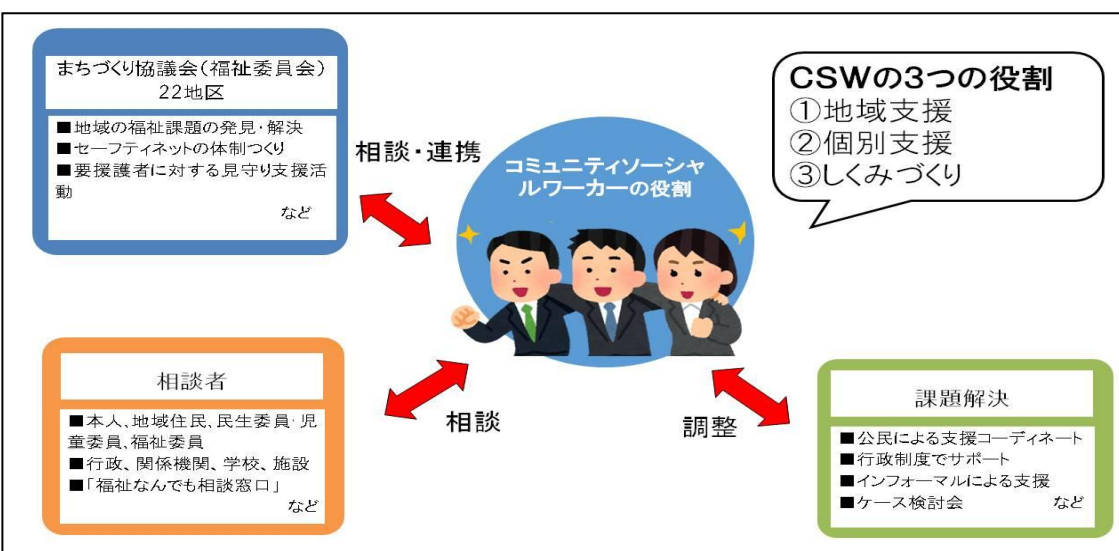
これらのしくみづくりに向け、亀山市社会福祉協議会に設置されたCSWは、地域の支援のほか、個別ケースの支援を進め、これまで市民等から多くの相談を受けており、中には全国的に問題視されているゴミ屋敷等の多様化・複合化した課題や「制度の狭間」の問題解決に向けた支援も行っています。

一方で、社会福祉協議会と協働し、地域まちづくり協議会の福祉委員会(全22地区)や民生委員児童委員協議会(全4地区)を訪問し、コミュニティソーシャルワークの概要やCSWの役割の説明を通じて取り組みの浸透を図っています。

今後も社会福祉協議会と連携し、CSWを中心とした地域支援、個別支援、を展開しながら、地域における助け合い・支え合いのしくみを構築し、「ふくし」のまち亀山の実現に向け取り組んでいきます。

ポイント2

ちょこボラのイメージ



第17回マニフェスト大賞 ローカル・マニフェスト大賞<首長の部>最優秀賞を受賞

令和4年11月11日に開催されました、第17回マニフェスト大賞授賞式において、櫻井義之市長の「マニフェスト四段活用 持続可能なまちづくり～中長期的なPDCAサイクルの深化へ～」が最優秀賞を受賞いたしました。

この賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による地域の民主主義的向上に資する優れた取り組みを表彰するもので、七部門に全国から三千百三十三件の応募があり、全国五市町の首長を「首長の部」の優秀賞に選び、その中の最優秀賞に選ばれました。

政策の達成状況と評価を「マニフェストレポート」として取りまとめ、ホームページで公表するとともに、事業の優先順位の見直しや組織づくりに反映させるなど、マニフェストサイクルを回していることが評価されました。



マニフェスト大賞 HP:

<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/>

市長マニフェスト HP:

<https://www.city.kameyama.mie.jp/mayor/2014112311532/manifest.html>

事務局からのお知らせ

令和5年2月11日(土)に皆さんの課題を解決する方法をみんなで考えるワールドカフェを開催する計画です。改めてご案内しますので是非ご予約ください。

みなさま
良いお年を
お迎えください